

みどりの散歩道

2025 年 6 月
第 4 号

TOPICS

寄居駅南口で見つける、四季折々の 「ナチュラリスティックガーデン」開花リレー

寄居駅南口のラウンドアバウトに広がる植栽地が、昨秋、緑の会によって「ナチュラリスティックガーデン」へと姿を変えました。ここは、里山・寄居の風景をデザインし、日本の在来種を含む宿根草（多年草）と低木が織りなす、四季の移り変わりを感じさせる空間です。早春から晩秋まで、バトンのように花々が咲き継ぐ「開花リレー」の様子を、寄居町の皆さんにも、寄居を訪れる皆さんにも楽しんでいただけたら嬉しいです。

ナチュラリスティックガーデンとは

What is a Naturalistic Garden?

ナチュラリスティックガーデンは、自然の生態系を模倣し、植物本来の姿を尊重する庭園様式です。人工的な整形を避け、その土地に合った宿根草やグラス類を多用します。手入れが比較的少なく、季節の移ろいとともに変化する景観を楽しめます。常に移り変わる自然の美しさを味わう庭です。



1. サンゴミズキ（1月22日）
2. 冬枯れの様子（1月22日）
3. スイセン（2月25日）
4. 満開のスイセン（3月15日）
5. ムラサキハナナ スイセン シードヘッド（3月29日）
6. プリムラ・ベリス（4月17日）
7. 色彩のハーモニー（4月17日）
8. サルビア・ネモローサム・ムラサキハナナのシードヘッド（5月15日）

早春の息吹から初夏への彩り

今回は 1 年目のガーデンの開花リレーの様子をお伝えします。まず早春のサンゴミズキの珊瑚色の茎。葉が茂る前のユニークな色彩は、冬枯れの風景に温かなアクセントを添えてくれました。

そして、その足元からは春の訪れを告げるように、スイセンが凛と咲き、1 ヶ月もの長い期間春の彩りを添えてくれました。

続いて鮮やかな紫色のムラサキハナナ、可憐なレモン色のプリムラ・ベリスが奏でる絶妙な色彩のハーモニーが広がりました。

さらに、初夏の訪れを予感させるサルビア・ネモローサの花穂が咲き、ムラサキハナナは花期を終えて個性的なシルエットのシードヘッド（seedhead）に姿を変えました。この二つの植物が織りなす風景は、これまでのガーデニングの枠を超えた、自然体の美意識を感じさせるのです。

意図的に作り込まれた整然とした美しさとは異なり、ここでは植物たちがそれぞれのタイミングで生長し、花を咲かせ、種を実らせます。その偶然の重なりによって生まれる風景は、常に変化し、私たちに新鮮な驚きを与えてくれます。

これから見頃を迎える植物

開花リレーはこれからも続きます。次にバトンを受け取るのは、エキナセア、ダリア、ワレモコウ、ノコンギク、そして秋の七草としても親しまれるキキョウ、オミナエシ、フジバカマ、ススキなどです。

ラウンドアバウトガーデンは、四季の移ろいや植物や生き物たちの力強い生命力を感じさせてくれる、寄居駅前の小さなオアシス。通勤や通学の途中、あるいは町散策のひとときに、ぜひ眺めて、この美しい開花リレーを肌で感じてみてください。

樹木とは素晴らしいものである。もし、これがこの世から消えたら何が起こるのだろうか？

地球温暖化が云々、自然災害が云々、…。しかし、確かに樹木は重要であるが迷惑な事もある。私の場合年中行事の落葉片付けがこれである。地球環境は大事だが目先の問題を第一に考えるのが世の常。

冬隣の頃、我家の裏には大雪に負けないぐらいの枯葉が降積もる。しかもその大部分はゴリラの手形よりも大きいような硬いプラタナスの枯葉。犯人の木は年々成長し、私を擁護しているかの如く成長に比例して落葉を増加させる。一方私は年々老いが進み、1日で終わった作業が2日更に3日となるような始末。この儘ではあの忌々しいプラタナスに負けてしまう、人間様の知恵をよく見ておけとこの作業を楽に行う方法はないか色々試した。

最初。日曜大工で使っていた電動小型ブロアーで落葉を吹飛ばし一か所に集める方法。これは全くダメ、場面が変わると役者も変えないと。

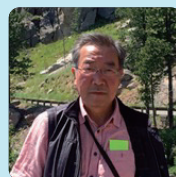
次の方法。安物の2ストエンジンブロアーをAmazonで購入。これは結構行ける、風力も電動式とはまるで違い烈風を吐く。しかし、重い！片手で持つ方式のため10分ぐらいで右腕が限界、筋肉自慢の人しか使いこなせない代物だ。

三回目。ゴルフ場でグリーン整備のおじさんが使っている背負い式ブロアーを思い出した。これだ！再びAmazonで購入。これは完璧、特に疲れ

ることもなく30分程度で枯葉の山ができた。だが、次の難題に直面、できた山から45Lのゴミ袋に詰める作業が相当疲れるのだ。

最後の挑戦。枯葉を吸込みゴミ袋に入れる機械があればと思っていたら、何と！筋肉自慢用ブロアーは、出入口を逆に使うとバキューマーとしても機能することが取説に書いてあった。早速トライ。これは本当に優れ物、吸入する際枯葉の粉碎も行うので排出するときは枯葉の嵩が著しく減少、ゴミ袋は1/3程度の数になった。

落ち。筋肉自慢用ブロアーは紛い物？最初からエンジンの調子が悪く異常に燃費が悪いのを無理やり使い続けたら、突然エンジン始動不能となった。エアクリナーの掃除から始まり、点火プラグ交換、燃料吸込みホース交換、キャブレター掃除、キャブレター交換、電源スイッチ交換までやったがダメなので、最後にエンジン本体の確認。何と！シリンダーの隙間から燃料が漏れており、分解してみるとピストンが吸排逆向きにセットされていた。奇跡的にもピストンは無傷なので、ガasketを交換しピストンを正常に戻して組立後テスト。見事復活！約1か月の時間と約8千円の追加費用で、久々の充実感と今後も永く付合えそうに頼りになる相棒を得た。



寄居の緑と空間を楽しむ会
会員

新井 純 さん

新井さん、落ち葉の清掃ありがとうございます。
集めた落ち葉は、12月の落ち葉で物々交換会に持参してくださいね！落ち葉は大切な資源、大事に使わせていただきます。

代表理事押田大助より



アオダモ

(モクセイ科トネリコ属)



明るい葉と、幹肌に白っぽい斑点模様が美しい庭木でも人気の樹種。涼しげな樹姿は、新緑から夏の緑陰だけでなく落葉した冬でも見ごたえがある。幹は野球のバットの材に利用される。

News!

土 も開催決定！！

管理作業に参加しませんか？

これまで街路樹とラウンドアバウトの定期管理作業は毎月第3木曜日に行っていましたが、「平日は参加できないので休日にも開催してほしい」といった多くのご要望を頂戴しておりました。そこで今後は木曜日だけではなく、季節ごと3ヶ月に1回、土曜日にも管理作業を行うこととなりました！これまで参加できなかった方もぜひ一緒に作業しませんか？予約は不要です。当日13:30に Yotteco (ヨッテコ) にお集まりください。(変更の際はLINE 等でご案内いたします) 作業時間は1時間ほどです。街路樹の成長を一緒に体感しましょう！

今後の管理作業予定日

7/17^木 | 8/21^木 | 9/19^土 | 10/16^木

持ち物

作業手袋、剪定バサミ、のこがま、汚れても良い服装、帽子、飲み物

次号予告



6月21日(土)、日本造園組合連合会青年部の方々、総勢83名が寄居町に視察に訪れました。大型バス2台、滞在時間は1時間というタイトなスケジュールでしたが、全国でも珍しい駅前在来種寄せ植え方式の街路樹を見学。土中環境を意識した植栽方法や循環型の管理の仕方などについての説明を熱心に聞き入りました。詳細は次号にて特集します。

